

快光院だより

令和8年春彼岸 第136号

浄土宗
Jodo Shu
Buddhist Denomination

○春期彼岸法要のご案内

3月20日(金) 午後1時半より彼岸法要

午後2時より法話

3月21日(土) 午後1時より法話

※21日の彼岸法要の勤行はありません。

布教師

大本山善導寺布教師

雲仙市小浜町 顕光寺 御住職

中路秀彦上人

○大施餓鬼法要のご案内

3月21日(土) 午後2時半頃より

阿難尊者の延命転寿の説話にもとづいて、一切の餓鬼に飲食を施し先亡追善回向を致します。

※お申し込みは前日までをお願いいたします。

※お申し込みをお電話でも承ります。

ぜひ一緒にお勤めいたしましょう。

至心称名 南無阿弥陀仏

令和八年もあれこれとする内、早今日は3月1日(日)朝から良いお天気です。皆様如何お過ごしでしょうか。今冬は皆様テレビその他で御覧の通り度重なる強い寒波は作冬に増す大雪をもたらし、特に北国、雪国の方々には大変な思いで毎日を送られていることでしょう。当寺お檀家にも秋田県に一家で長年居住なさっておられます。その土地の方々の様に長年に渡り経験なされた方々でなければその実情はわからないと思いますがお元気で頑張ってくださいること心より願います。

かつて私が一時滞在した京都北部の与謝野町の加悦地区(車で一般道を使い鳥取砂丘まで2時間半、城崎温泉60分、福知山45分です)は河谷低地の盆地型で丹後の中では比較的降雪少なく、それでも多い時期は一晩に一尺程の積雪でした。翌日晴れると溶けかかり長いつららが軒先に一杯下がり又夜から降り出し積もるを繰り返します。昼間でもしんと垂直に降る様を見ると一見ほのぼの感が有りますが実際にはとんでもないと土地

の人々が笑うでしょう。一般民家の造りは雪対策で頑丈、特に屋根には気を使っています。寒冷と降雪に強い石州瓦が中心で光沢があり奇麗です。高価な陶器瓦も結構見かけます。浄土宗・寶巖寺さんの木造本堂は数十年前の大雪で天井裏の梁が折れて大修理され、それでも二百年以上も経つそうです。因みに快光院の旧本堂はシロアリ被害のため百二十年でした。日本海側は湿気が多く民家の壁はワラを混ぜて練った昔ながらの赤土仕上げで、体裁が気になる家は白壁です。赤土のままが乾湿によく、結構建っています。平成18年6月、お寺のワゴン車で京都・知恩院等巡りで有志の方々を御案内した折りこの町を通りました。御手洗いは湿気で臭いがこもるので母屋隣接の屋外(渡り廊下付きも)が中心です。そのかわり真冬はそれなりに大変です。考えますとこの日本に楽にそして安心して住めるよい所など無く、それぞれに土地の皆様懸命に頑張っておられ、そしてその土地が一番いいと思えることがなによりです。

朝から晴れた日は自室の窓より差すお日様が有りがたく、寝台から顔を向け窓から隠れ

るまで陽光を浴びます。数ヶ月先は怖い姿でお出ましになり長い間お世話になる事でしょう。お手柔らかなること願います。今回も私事の回想になり申し訳なく存じます。皆様、度々の寒波でお体痛められたことでしょう。これから暖かさと共に花粉症等も加わり日常

の感染症他と気づかい多い時期です。そして年度末、年度始め皆様それぞれに御多用、御多忙の日々、ご尊体お大事になさってください。

令和八年三月初旬 快光院住職 永野寶信

なむあみだぶ “つ” なーむあみだーぶー 永野至信

ここ数年、年忌法要や49日までのお勤めを行う際に、経本をお配りして一緒にお勤めすることがあるのですが、その時に「10回の御念仏をとなえるときに、9回目になむあみだぶつと“つ”が付くのはどうしてですか。」とよくご質問を受けます。お配りする経本には10回御念仏するときに9回目は“なむあみだぶつ”と称えると説明が書いてありますので、疑問に思われるのでしょうか。恥ずかしながら私はというとその質問を受けるまで一度も疑問に思ったことはなく、そういうものだと思っていました。実際に今の称え方は変える必要のないほどきれいな形だと思っています。ですがある時、先輩の和尚様にそのことを聞く機会があって尋ねたところ、さっそく調べていただきました。和尚様によると、いつ頃に現在の称え方になったのかはわからないけれども、江戸時代中～後期に山口県長門市大日々という地域で活躍されたお坊様がおられて、その大日々では十回の御念仏すべてに“つ”をつけてお称えしていたとのことでした。残念ながら今の称え方になった理由まではわからなかったのですが、それぞれの地域の昔のお坊様方は仏様の教えがより感じられるように形を変えていかれたのだと思います。時代や場所によってやり方は当然変わっていきませんが、大事なものは変えることは好き勝手にするのではなく、突き詰めれば誰かの幸せを考えるからこそ変化させていく。このことを忘れてはならないと感じました。最後になりますが、私が疑問に思わないことを皆様が疑問に思って尋ねてくださるお陰で、私自身が多くの学びを頂いております。いつもありがとうございます。

島原市仏教会主催「花まつり」開催

日時：令和8年4月5日(日)

会所：晴雲寺



↓日程↓

13時より武家屋敷から稚児行列

晴雲寺到着後、法要、法話、お楽しみ抽選会等

お寺行事

- 3月20～21日 当寺彼岸法要・大施餓鬼会
- 4月5日(日) 島原市仏教会主催花まつり
(晴雲寺さまにて)
- 4月25日(土) 当寺別時念仏会(午後2時～)
- 5月18日(月) 当寺観音講(午後2時～)

現在お稚児さんを募集中です！

おたのしみ券は1枚200円で販売しております。

当日は甘茶の接待を行っております。

実は来年、**快光院**が会所ですので、来年に向けてもお稚児さんを募集中です。ご不明点あればお気軽にお尋ねください。

浄土宗 演暢山 快光院

〒855-0851

長崎県島原市萩原1丁目1227番地

電話：0957-62-2742

Fax：0957-64-6624

Mail：kaikoin.temple@gmail.com

郵便振替：01770-4-92594